

第4学年 道徳学習指導案

太田小学校4年 男子12名 計12名

授業者 大倉智子
西岡佳江

1 総合単元名 がんばりぬく力

2 総合単元設定の理由

人は、積極的に自分のよさを伸ばすことで、自分らしい特徴を発揮しながら調和のとれた自己を形成することができる。また、人は周りの人々とかかわり、支え合って生きている。お互いを認め合い高め合っていくことで、成長していくものである。

本学級の子どもたちは、男子ばかりの12名である。どの子も素直で優しい気持ちをもっている子どもたちである。休み時間になると、運動場や体育館で汗びっしょりになって仲良く遊び、元気いっぱいである。しかし、気の合う者同士で仲間を作る傾向が強くなっている。また、自分や友達のよさを見つめ、互いに向上していこうという意識は薄い。

そこで、一人一人が自分のよさを発揮し、自分がまわりに支えられていることに気付かせる一年にしたいと考え、総合主題を「かがやく自分に」とした。

1学期は、総合単元「支え合う仲間」を設定し、友達のよさやありがたさを再発見し、お互いの思いや願いを認め合うことをねらいとした。励まし合える仲間がいてこそ、生き生きと安心して自分らしく活動することに気づき、互いに信頼し助け合っていこうとする態度を養いたいと考え取り組んできた。

2学期は、総合単元「がんばりぬく力」とした。自分の長所をさらに伸ばし、短所を望ましい方向へ改めるために、努力によって改善していこうとする意欲をもたせたい。自分で目標を決め、努力を重ね、粘り強くやり遂げようとする態度を養いたい。

3学期は、「かけがえのない命」とし、生命のかけがえのなさを理解し、生命あるものが共に生きていることのすばらしさを感じ取り、自他の生命を尊重していこうとする態度を養いたい。

3 総合単元の目標

自分の立てた目標に向かって粘り強く努力することの大切さに気付かせ、あきらめずに最後までがんばろうとする態度を養う。

4 単元構成について

総合的な学習の時間「やさしさの輪を広げよう」では、障害を個性ととらえ、自分の特徴を前向きに伸ばしている人の話を聞いてその姿に学ばせたい。また努力によって障害を乗り越えてきた生き方にも気付かせたい。

道徳の時間「組木のボール」では、組木のボールを、友達が注意力と根気をもって完成させた姿を通して、その人らしい特徴やよさを発揮することの大切さを感じ取らせたい。

社会「町を開く」では、困難に遭いながらも、人々のために土地を広げていった昔の偉人に、やり遂

げることのすばらしさを感じ取らせたい。

道徳の時間「負けない心 星野富弘」では、身体の不自由さにかかわらず、人としてのよりよい生き方を強い信念と不とう不屈の努力によって追究していく星野さんの姿や気持ちを追いながら共感的にとらえさせ、努力することのすばらしさについて深く考えさせたい。

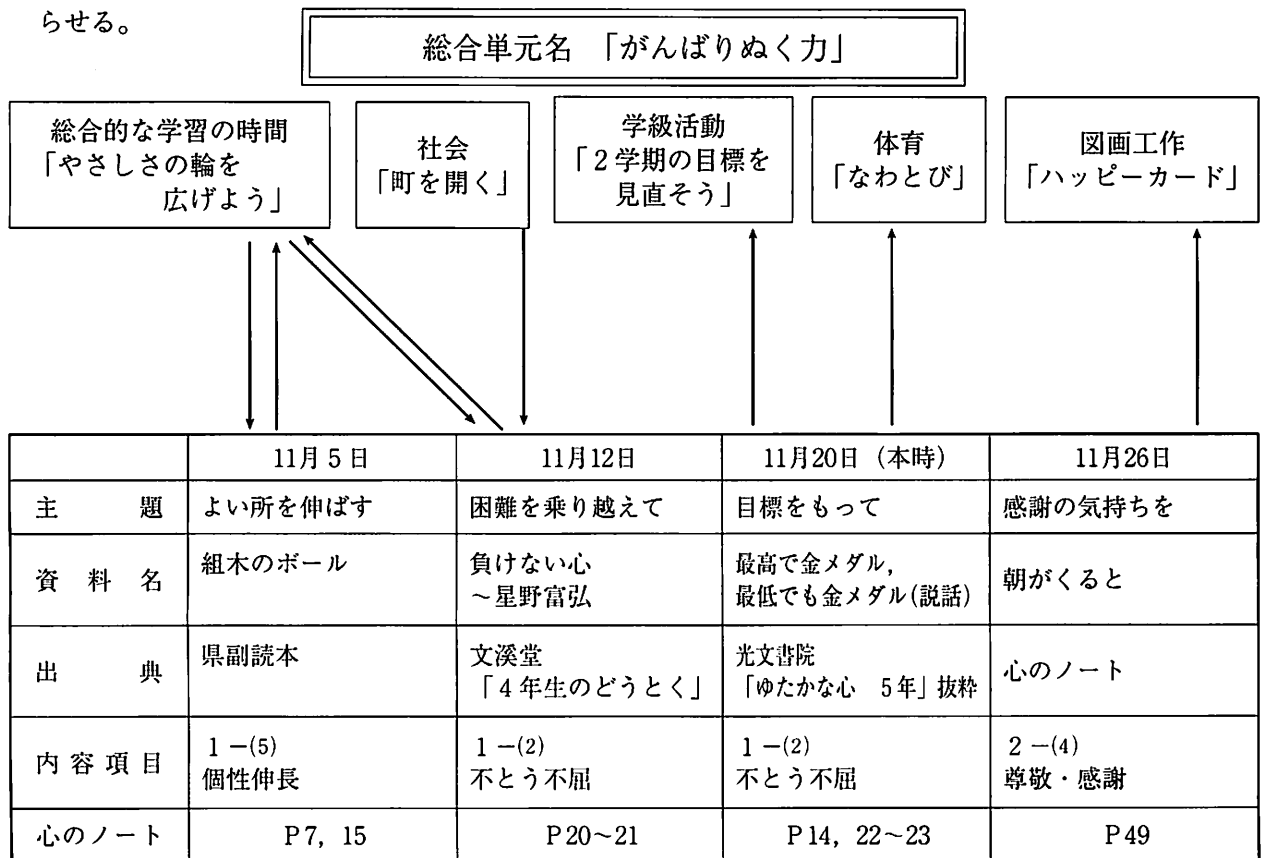
道徳の時間「最高で金メダル、最低でも金メダル」では、常に自分で目標をもち、一步一步努力し、目標達成をめざして粘り強く進もうとすることの大切さについて考えさせたい。

学級活動「2学期の目標を見直そう」では、9月に立てた目標を見直し、その目標達成のためには、どんな努力をしたらいいのかを具体的に考えさせる。

体育では、なわとびをする際に、自分に合った目標を決め、それに向けて粘り強く努力しようとする意欲を高めさせたい。

道徳の時間「朝がくると」では、私たちの生活は全て周りの人たちに支えられていることに気付き、自分たちを支え見守ってくれている人たちの思いについて考え、感謝する心を育てたい。

図工「ハッピーカード」では、お世話になっている人に感謝の気持ちを込めてメッセージカードを作らせる。



〈常時活動〉

- ・朝の読書
- ・1分間スピーチ（朝の会）
- ・友達のいいところを見つけよう（帰りの会）
- ・ニコニコカード（友達にしてもらってうれしかったこと、友達ががんばっていること、自分のいいところなどをカードに書きとめる。）
- ・ぼくたちの宝物（全員が力を合わせてがんばったこと）
- ・今日のきりり（今日、輝いていた人に担任からの賞賛）

5 本時の学習

(1) 主 題 名 目標をもって

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

1-(2)	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
-------	--------------------------

人間はだれでも「こうなりたい」という、夢や目標をもつものである。しかし、その夢や目標を実現させるためには、困難に負けない強い意志と実行力が必要である。そのためには、自分がやらなければならないことだけではなく、自分でやることを決め、そのことに対しても積極的に取り組み、粘り強くやりぬく姿勢が必要になってくる。自分でやろうと決めても、ちょっとしたつまずきですぐにあきらめてしまう子どもが見られる今、自分の弱さを乗り越え、やり遂げようとする心情を育てることが大切であると考えます。

〈子どもの実態〉

本学級の子どもたちは、4月当初、自分の好きなことや得意なことに対しては熱中してやり続けるが、嫌いなことや苦手なことに対してはやろうとしない傾向があった。やる前から「できない」と決めつけてしまい興味を示さないことが多かった。しかし、様々な体験を重ねることで、少しずつ「やってみよう」という気持ちになり、いろいろなことに興味をもち取り組むようになってきた。反面、自分が決めためあてであっても、困難なことがあると、簡単にあきらめてしまうことが多い。自分の思い通りにことが運んでいるうちはよいが、今していることに少しでも困難を感じたり地道な努力が必要になったりすると、途中で投げ出してしまったり、すぐに他に目が移ったりしてしまう子どもが少なくない。

目標を達成するためには、強い精神力と努力が必要であることに気付かせ、自分がやろうと決めたことに対してはあきらめず、粘り強く努力を続けていこうとする心情を育てたい。

〈資料について〉

田村亮子選手は、テレビなどでもよく紹介される柔道の選手である。また、シドニーオリンピックでの活躍は多くの国民に感動を与えた。オリンピック直前のインタビューで「最高でも金メダル、最低でも金メダル」という目標を宣言した。そこまで自分を追い込むような発言ができる自信は、誰にも負けないぐらいの努力に裏打ちされたものである。

幼いころから目標を設定し、人の3倍の練習をし続けた田村選手の姿勢に視点をあて、それに共感させることで、常に自分で目標をもち、一步一步努力し、目標達成をめざして粘り強く進もうとすることの大切さについて深く考えさせたい。また、オリンピック直前のインタビューから、人間は多くの人によって支えられていることにも気付かせたい。

資料名「最高で金メダル、最低でも金メダル」(ゆたかな心 5年/光文書院 抜粋・説話)
--

(3) ね ら い

自分で立てた目標に向かって、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

(4) 展 開

学 習 活 動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点
1 田村選手の活躍を知り、本時の学習について関心を高める。	<p>○オリンピックでメダルを5つも取ることができた、日本のスポーツ選手を知っていますか。</p> <p>・ どうしてそんなすごいことができたのだろう。</p>	<p>・ オリンピックでの田村選手の活躍を紹介することで、学習への興味付けを図る。</p>
<p>2 教師の説話を聞き、目標に向かって粘り強くやり遂げようとする心について考える。</p> <p>・ 人の3倍の練習を続けていたときの気持ちについて</p> <p>・ 2度目のオリンピックでも銀メダルだったときの気持ちについて</p> <p>・ 金メダルを取ったときの気持ちについて</p> <p>・ 金メダルに込められたものについて</p>	<p>○田村選手は、どんなことを考えながら、人の3倍の練習を続けていたのだと思いますか。</p> <p>・ あきらめてしまったらだめだ。</p> <p>・ 夢をかなえるためには、つらくても続けよう。</p> <p>○決勝戦で負けたとき、田村選手はどんな気持ちだったと思いますか。</p> <p>・ すごく悔しい。</p> <p>・ もう柔道をやめたい。</p> <p>○やっと金メダルが取れたとき、田村選手はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ うれしい。夢が叶った。</p> <p>・ あきらめずに頑張ってたかった。</p> <p>○この金メダルには、どんなものがつまっていると思いますか。</p> <p>・ 自信と喜び。</p> <p>・ あきらめない心。</p>	<p>・ 対話を通しながら進め、映像資料や体験的な学習なども取り入れることにより、イメージ豊かに考えられるようにする。</p> <p>・ 強い決心をもってこの練習に取り組んだこと、周囲の期待と激励も田村選手にとっては大きな励みとなっていたであろうこともとらえさせる。</p> <p>・ 田村選手の強い挫折感や喪失感を感じ取れるように助言する。</p> <p>・ 夢を達成できた喜びとともに、その達成を支えてくれた周りの人々に対しての感謝を忘れない田村選手のすばらしさにも気付かせる。</p> <p>・ 金メダルに込められたものを考えることを通して、あきらめずに頑張ることで、多くのものを得ることができたことを理解させる。</p>
3 自分たちの生活を振り返る。	<p>○今、この話を聞いて、あなたはどう思いますか。</p> <p>・ 田村選手のように目標に向かって努力していきたい。</p>	<p>・ 自分の目標や夢を見つめ直し、その実現のために頑張ろうという意欲を高めさせるようにする。</p>
4 本時のまとめをする。	<p>○田村選手のその後について、みなさんに見てもらいたいものがあります。</p>	<p>・ 自分で立てた目標に向かって、粘り強く努力を続けようとする価値の印象付けを図る。</p>

(5) 評価の観点

- ・ 田村選手の、目標に向かって頑張る心の強さを感じ取ることができたか。
- ・ 自分で立てた目標に向かって、粘り強くやり遂げようとする気持ちをもつことができたか。